

第1回野洲市交通ネットワーク構想検討委員会 ～議事概要～

日時：平成24年9月19日（水）14：00～16：10
 場所：野洲市役所本館3階 第2委員会室

■議事次第

1 開会、あいさつ	
2 検討委員会の趣旨説明	5 議事の(1)において説明のため省略
3 設置要綱の説明及び委員の紹介 資料1、資料2	
4 委員長及び副委員長の選出	委員の互選により、委員長に中川大氏、副委員長に松永諭氏を選出。
5 議事 (1) 検討委員会の進め方について 資料3 (2) 野洲市の交通の現状について 資料4	
6 その他	今後のスケジュールについて
7 閉会	

■参加者

	氏名	所属等	備考
委員	中川 大	京都大学大学院工学研究科教授	(委員長)
	松永 諭	野洲市商工会副会長	(副委員長)
	永田 征二	野洲市自治連合会会長	
	谷 とよ子	守山野洲交通安全協会女性部	
	田中 貢	国土交通省近畿地方整備局道路部 地域道路調整官	
	徳島 英和	滋賀県 南部土木事務所長	
	松家 昌雄	守山警察署 交通課長	吉成交通係長 代理出席
	仲江 九二孝	湖南広域消防局 東消防署長	
	川端 和夫	野洲工業会 オリベスト株式会社	
	樋口 俊助	社団法人滋賀県バス協会 専務理事	
木村 靖	貸切バス業務 びわこ観光バス株式会社		
事務局	野洲市長 山仲 善彰		
	野洲市都市建設部道路河川課 国県事業対策室		
	同 政策調整部企画調整課		
	同 市民部生活安全課		

委員会風景写真



■議事概要

5 議事
(1) 検討委員会の進め方について 設置目的、検討内容及び委員会で検討していただく事項について、資料に基づき説明を行った。
(2) 野洲市の交通の現状について 野洲市の交通の現状について、①市の都市特性、②都市交通の状況、③上位計画及び関連計画の状況、④都市交通の課題について、資料に基づき説明を行った。

委員による意見交換 (1) 検討委員会の進め方について
1-1・構想について、短期的な部分と、中・長期的な部分とが混在しているが、どこに視点を置いて意見をまとめていくのか。 <p style="text-align: right;">(E委員)</p>
1-2・滋賀県は他県に比べて全体的に道路整備が遅れている。また、市内の事業所についても国際的なつながりの中にある。 ・野洲から世界へとつながる視点を持って中長期も含めたランドデザインを描いていただき、これを個別の事業に生かしていきたいと考える。 <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
2・夢のような大きな話の中で多少戸惑うところもあるが、昔からある道も生かしたようなまちづくり、道づくりをについて検討していきたい。 <p style="text-align: right;">(H委員)</p>

委員による意見交換 (2) 野洲市の交通の現状について
3-1・市の総合計画では平成32年を機軸においた書き方になっているが、ネットワーク構想では何年を見越した形でまとめていくのか。 <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
3-2・基本的には市の基本計画をベース（平成32年）とするが、本構想ではもう少し先を見越したものも盛り込みたい。 <p style="text-align: right;">(事務局)</p>
4・篠原駅の乗降客数や、コミュニティバス、路線バス、鉄道、自動車、自転車等のデータについても示していただきたい。 <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
5・課題について、人、モノだけでなく「情報」も付け加えるべき。 <p style="text-align: right;">(A委員)</p>
6・港や空港について、ヒトの流れもあるが、物流に関するデータがあれば示していただきたい。 <p style="text-align: right;">(B委員)</p>

7-1・バリアフリーについてはどこがネックになっているのか。	(B委員)
7-2・物流については次回示させていただく。バリアフリーについては社会資本整備総合交付金事業で、野洲駅周辺1キロメートルの範囲で整備をしている。今後これらへ接続する道路のバリアフリー化が課題。	(事務局)
8-1・コミュニティバスの利用者について、篠原コースの利用者が平成23年度で落ち込んでいるが、その理由は。	(B委員)
8-2・実績について正確に調査をしたわけではないが、例えば通院されていた利用者の方が通院の必要がなくなった等、個人的な理由によるものと推測される。固定客が少し減っただけでも年間の実績にすれば大きく変動する。	(事務局)
9・高齢化社会に対応するため、乗降者数の増減に関わらずコミュニティバス等の公共交通手段をしっかりと確保していただきたい。 ・バリアフリーについては、植栽帯の除去等、車道・歩道とも安心して通れるような道づくりを考えていただきたい。	(C委員)
10-1・野洲駅の利用者について、市民の利用、市外からの利用等に分けて把握してもらえるか。	(D委員)
10-2・近隣他市町からも野洲駅を利用されている事例も多いと思うが、数字としては把握していない。	(事務局)
11・貸切バスで野洲駅のターミナルを利用する場合の利便性が悪い。新しく駅周辺整備の中ではそういうターミナル等設けていただきたい。	(D委員)
12-1・課題の挙げ方と検討事項をもう少し整理できないか。	(E委員)
12-2・今の段階で課題が整理されている状況ではないので、委員の皆さんからのご意見も含め整理していく。	(事務局)
13・野洲市の現状として今困っているものが何か、中期・長期的な課題は何か、委員の中からも意見を出していきたい。 ・国道8号バイパスについて、昭和57年に事業化されてそれからだいぶ経過している。やるのか、違う案を考えて最初からやり直すのか。	(F委員)
14-1・関連して、将来交通量の予測として、将来計画で国8バイパスや大津湖南幹線があれば、混雑率はこの程度の数値で収まる、なければ市内で大きな渋滞が生じるというような理解でよいか。	(G委員)

<p>14-2・資料における将来交通量の予測（平成42年）として、この頃には大津湖南幹線も完成し、また近江八幡側からの道路についても既に完成している と見込んでいる。市にとって非常に重要な路線と位置づけている。国道8号 バイパスについても必ず必要だと思っている。</p> <p style="text-align: right;">（事務局）</p>
<p>15-1・野洲駅～篠原駅間新駅設置について、現段階で南草津のような新しい 市街地整備などを計画しているのか。</p> <p style="text-align: right;">（H委員）</p>
<p>15-2・次期国体の開催が平成36年に予定されているが、希望が丘文化公園し か現実として会場がないと考える。また、イベントだけでなく将来のスポー ツ施設等の整備も考えると、一番有効なアクセスは新駅になるだろうと考 えている。</p> <p style="text-align: right;">（事務局）</p>
<p>16-1・菩提寺のスマートインターについて、具体的な中身はあるか。</p> <p style="text-align: right;">（I委員）</p>
<p>16-2・地理的に十分可能性があり、ネクスコ西日本にも提案しているが、ま だ片思いの状態、具体的な段階まで至っていない。</p> <p style="text-align: right;">（事務局）</p>
<p>17・設置目的の中には「防災」が挙げられているが、課題のところあまり触 れられていない。また、港湾の利用、湖上交通についても考えを入れられれ ばと思う。</p> <p style="text-align: right;">（A委員）</p>

■今後の予定

- ・次回委員会の開催については、11月14日（水）とさせていただきます。